

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年3月10日第219号－

<目次>

- 西加瀬巨大物流倉庫計画を強行する大和ハウス
- ◆ 市民の暮らしを壊す「川崎市行財政計画第4期プログラム案」

★ お知らせコーナー

- ① 4/12 陳情第144号 学校給食の無償化を求める陳情の審議
- ② 4/12 陳情第141号 再編整備事業費削減のために現とどろきアリーナの継続使用を求める陳情の審議
- ③ 3/14 かわさき市民アカデミー 2025年度SDGs講演会・緑地と文化
- ④ 3/15 原発ゼロへのカウントダウン in かわさき集会&デモ
- ⑤ 3/18 改憲ストップ・戦争させない中原アクション
- ⑥ 4/26 ゆめシネマ上映会「タイムグラバあちゃん」

★ 編集後記

● 西加瀬巨大物流倉庫計画を強行する大和ハウス

3月3日、神奈川県公害紛争条例に基づく西加瀬巨大物流倉庫についての大和ハウス工業と被害住民との第2回調停が行われました。

240人の申請者の内22名が横浜の波止場会館に9時に集合し、緊張して調停委員3人との会合に参加をしました。

<いきなりの調停打ち切り>

調停委員長からは、開口一番、

「大和ハウス側から、申請人との話し合いをする余地はない。申請人の要望には応じられない。よって調停は打ち切りたいとの意思表示があったため、調停委員会で話し合い、これ以上の調停継続は難しいと判断をした。」と報告されました。

申請人は、10日前の2月20日に、大和ハウス工業が提出した「準備書面(1)」を受け取って以後、事務局を中心に批判検討し、A4用紙12ページの「意見書」を約束通り調停の

前日の3月2日に提出をしました。

申請人は、今回の第2回調停では、意見書を中心に調停委員に訴えをすることができると意気込んで参加したのです。

しかし調停委員会は、私たちの意見を聞くよりも先に、大和ハウス側に私たちの意見書への意見を聞いたのです。

そして、大和ハウス側から「その質問にも答える事は必要ない。これ以上調停としての歩み寄りにはできない。」との意思表示を受けて、「調停不成立」と判断したと言うのです。

開いた口が塞がらないとは、まさにこのことでしょう。

それでも申請人側は、調停委員3名に、この不当な打ち切りに抗議し、調停委員会として再度、大和ハウス側への調停継続を伝えてほしいと訴えましたが、調停委員長は「調停打ち切りは変わらない」と繰り返しました。

<公害紛争調停制度は、住民の被害の守り手ではないのか？>

神奈川県公開紛争調停には、これまで、20数件の調停案件があった。

そのうち2件だけ調停が成立し和解になった。

ただその和解の内容も、申請人側に有利だったわけではなく、非申請人側の「仕方ないから和解金を払う」程度のものであった。

公害紛争条例に基づく調停は、両者の調停に参加する意思がなければ続けることはできない仕組みなのです。

もちろん、私たちは調停の持つ限界を一定程度理解していましたが、大和ハウスほどの大企業、しかも地域住民との理解や環境保全を標榜している大和ハウスが、その言葉通り、住民が被害を受任できる程度まで建設計画を作り直す事は十分にできると信頼をしていました。

しかし、大和ハウス工業は、すでに調停が終わるまで工事を中止してほしいとの要望も無視して、今年の1月からは本格工事に着手をしています。

<私たちはあきらめない>

私たちはここであきらめるわけにはいきません。

無謀な巨大物流倉庫ができれば、未来永劫、私たちの町が大和ハウス工業の利益優先のために踏み荒らされることになるのです。

そんな未来を子どもたちに残したくない。

今回の調停不成立では、住民にとって「1つの希望」を打ち砕かれましたが、憲法13条の幸福追求権をしっかりと踏まえて、次の戦いに臨む決意です。

市古博一（西加瀬物流倉庫を考える住民の会事務局）

◆ 市民の暮らしを壊す「川崎市行財政改革第4期プログラム案」

川崎市は、昨年11月に「川崎市総合計画改定素案」を公表し、その後、「パブリックコメント手続等を通じて市民の意見を聞いた」として、2月5日に「川崎市総合計画改定案」をまとめ公表しました。

そして、これらを、2026年第1回市議会定例会に議案として提出し、議会の議決を経た後、同年3月に総合計画を改定するスケジュールです。

川崎市の今後10年間の方向を決める「総合計画案」の検討過程で、「市民の意見を聞いた」というのは、たった1回の市民説明会と、12月中に締め切ったパブリックコメントだけです。

本来なら、各区、さらには、中学校区ごとに市民とともに、川崎市の未来をどう切り開くかを話し合うべき重大案件のはずですが。

同時に提案された「第4期行財政改革プログラム案」では、「川崎市総合計画案」の「これから川崎市が重点的に取り組む課題は、少子高齢化・人口減少」という間違った基本認識にたって、市民生活の困難を無視し、福祉・子育て・暮らしの改善とは真逆の福祉抑制の提案が次々と出てくるのです。

市民の大半はこのことを知らされていません。

改悪される当事者すら知らされていないのです。

今回は、問題提案がある項目の紹介にとどめますが、ぜひ、該当するページを開き、文字と行間を読み解いていきましょう！

以下の「第4期行財政改革プログラム案」リンクにぜひ、アクセスしてみましょう。

[「第4期行財政改革プログラム案」](#)

それでは、「川崎市行財政改革第4期プログラム案」のページ順に、記載してみます。

- ① 高齢者、障がい者外出支援乗車事業のあり方を検討 (P33)
- ② 高齢者に対する市単独事業のあり方を検討 (P34)
- ③ 休日診療所の見直し (P35)
- ④ 歯科保健センターの見直し (P36)
- ⑤ 障がい者施設運営費補助のあり方の検討 (P37)
- ⑥ 公立保育所のあり方、保育・子育て支援センターなど支援施策の再整理 (P39)
- ⑦ あらゆる事業への民間活用の推進 (P49)
- ⑧ 市民プラザの方向性、民間活力の導入 (P49)
- ⑨ 公共福祉施設（柿生学園、ふじみ園、社会復帰訓練所、など）の民間活用の推進 (P51)
- ⑩ 公園の民間活力の導入（対象4公園を6公園へ） (P52)
- ⑪ 等々力緑地の民間活力方針にもとづく更なる効率的運営と経費削減 (P52)
- ⑫ 夢見が崎動物公園再整備での民間活力の導入 (P54)
- ⑬ 市内全域の学校施設への包括管理委託導入 (P55)
- ⑭ 学校プールの新設や更新は行わず、市民プール、民間プール活用（5校を80校以上） (P55)
- ⑮ 全ての市民館、一部の図書館への指定管理者制度の導入 (P56)
- ⑯ 公共施設の床面積を増やさず、公共ホールの最適化を推進 (P75)

⑰ 国際交流センターのあり方検討 (P76)

⑱ 八ヶ岳少年自然の家の青少年教育施設としての用途廃止。跡地のあり方の検討 (P77)

まだまだ見落としがあるでしょうが、まさに、「民間活力導入、民間委託のオンパレード」です。ぜひ、みなさんと共同し、徹底批判の運動をよびかけたいと思います。

(H)

★ お知らせコーナー

① 陳情第 144 号 学校給食の無償化を求める陳情の審議

3/12(木)10 時から

市議会文教委員会

中学校までの学校給食無償化を求める陳情の審議です。

国の方針で 4 月からの小学校の学校給食無償化は実現しますが、中学校は除かれました。中学校までの実施を求めています。

② 陳情第 141 号 再編整備事業費削減のために現とどろきアリーナの継続使用を求める陳情の審議

陳情第 142 号 等々力緑地再編整備による工事での緑地の環境と安全・安心を守ることに
関する陳情の審議

3 月 12 日 (木) 10 時から

市議会まちづくり委員会

等々力緑地の再整備工事から、市民の憩いの場を守りたいという願いをこめた陳情 2 本
が同時に審議されます。

③ かわさき市民アカデミー 2025 年度 SDGs 講演会・ 緑地と文化

～夢を旅する～ニューヨーク、ボストン、中国、ブータン、そして川崎へ

(公財)東京応化科学技術振興財団助成事業

3/14 日(土) 13 時 30 分～16 時 30 分

第 1 部 講演 講師：石川幹子先生 (東京大学名誉教授・国際文化的景観科学者委員会日
本代表)

第 2 部 参加者とともに考える

参加費 無料

[申込み](#)

④ 原発ゼロへのカウントダウン in 川崎 集会&デモ

3/15(日)12 時開場

3 時 文化行事

14 時 メイン集会

15 時半 デモ行進

会場は、中原平和公園

参加は無料

連絡先 川崎合同法律事務所 三嶋健 044-211-0121

[詳しくはこちら](#)

⑤ 改憲ストップ・戦争させない中原アクション

3/18(水)18 時半～20 時

総合自治会館 会議室

- ・特別報告 高田健さん
- ・改憲反対の活動交流
- ・今後の取り組み

会場費 300 円

よびかけ 中原革新懇

連絡先 事務局・市古博一

(090-7830-8030)

⑥ ゆめシネマ上映会「タイムグラバあちゃん」

4/26 ①9 時 ②12 時 ③15 時

かわさきゆめホール

岩手県のほぼ真ん中に位置する早池峰山の麓に戦後、“タイムグラ”と呼ばれる小さな開拓地がつくられ 10 軒あまりの農家が入植した。

しかし、東京オリンピックの頃までにはほとんどの家が去り、残ったのは向田久米蔵さん、マサヨさんの夫婦二人だけだ。そして。

[予告動画](#)

★編集後記

トランプ大統領による傍若無人のイラン先制攻撃に怒りが収まりません。

そして、アメリカにへつらい、一言の批判もできない高市政権の卑屈さにはあきれられるばかりです。

台湾有事問題で、中国に対して強気の発言に賛辞を送っていた右翼の皆さんはいったいどうしたのでしょうか。

反中、反韓を旨とする日本の右翼は、アメリカこそが日本を守ってくれると本気で信じているようです。

「アメリカは世界の警察官ではない」とかつてオバマ元大統領が言ったそう。

この時は、シリアの化学兵器使用に対して軍事行動を取るべきかどうかを国民に説明する中で、「アメリカが世界中の紛争を力で解決する役割を担うべきではない」という立場を示したもののようです。

アメリカの大統領は、戦争権限法という法律によって、自由に戦争を起こすことができ、それに対して、国会はほとんど何も言えないそう。

平和主義者が大統領になればいいが、やくざの親分が大統領になったらアメリカという国はただの暴力団と同じです。

暴力団といえば、「みかじめ料」というのがありますね。「俺たちが守ってやるからカネを出せ」というやつ。

思いやり予算はまさにそれ。

辺野古に基地をつくって普天間はなくなるはずだったのに、辺野古では足りないから普天間は返さないと言い始めました。ゆすりたかりの典型。

アメリカが国際法無視の暴力団国家だとすれば、もはや世界の反社会的勢力です。

反社には怖くても毅然と闘うべき。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆